

取扱説明書

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

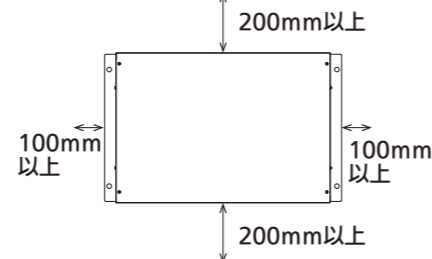
施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 本器は必ず壁面に正しい方向に取付ける。火災の原因となります。
- 施工は取扱説明書にしたがい確実にこなう。火災や感電、落下の原因となります。
- 天井や壁面への埋め込み設置はしない。火災の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けけない。火災や感電の原因となります。
- 本器の上下には 200mm 以上、左右に 100mm 以上の通風スペースを設ける。火災の原因となります。



仕様

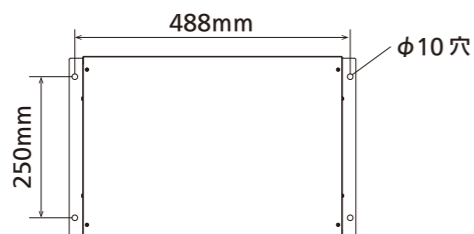
取付台数 6台まで
適合インターフェース NQL10101、NQL10111、NQL10121、NQL10131、NQL10141、NQL10151、NQL10161

施工上の注意

- ・必ず信号変換インターフェース（別途）と組合せて使用してください。
- ・信号変換インターフェース専用の調光ボックスになります。他機器は取付できません。
- ・分電盤内への設置はできません。
- ・施工前に使用する信号変換インターフェースの取扱説明書も確認してください。

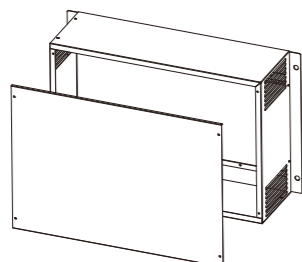
施工前のご確認

- ・下記のものが同梱されているかご確認ください。
本器、取扱説明書（本書）、取付ネジ（M4、12本）
- ・調光ボックスの重量は4.2kg、内部に信号変換インターフェースを取付けると最大7.2kgになります。重量に十分耐えられる壁に設置してください。
- ・信号変換インターフェースの配線は使用する信号変換インターフェースの取扱説明書を確認してください。
- ・取付穴の寸法は下図をご確認ください。



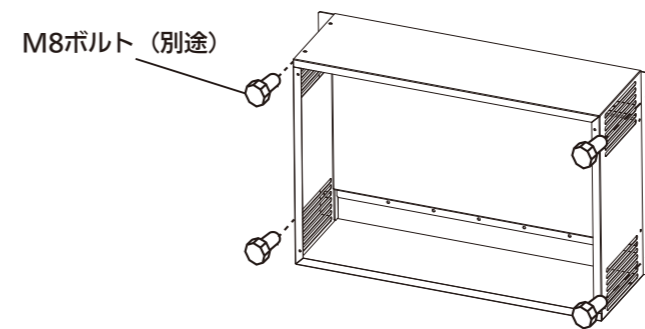
施工手順

1. 調光ボックスのカバーを外す。



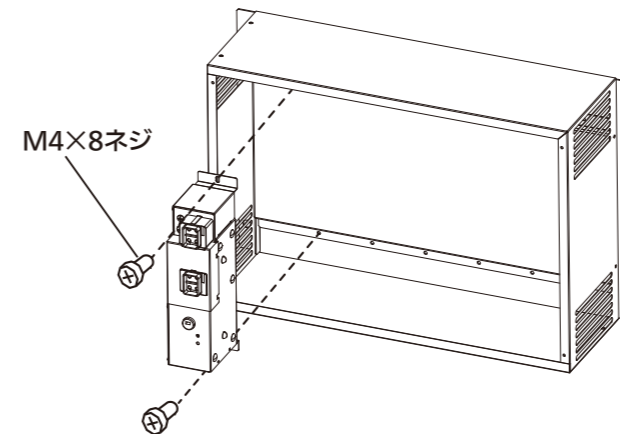
- ・カバーのネジ（4箇所）をゆるめ、カバーを取外してください。

2. 調光ボックスを壁面に取付ける。



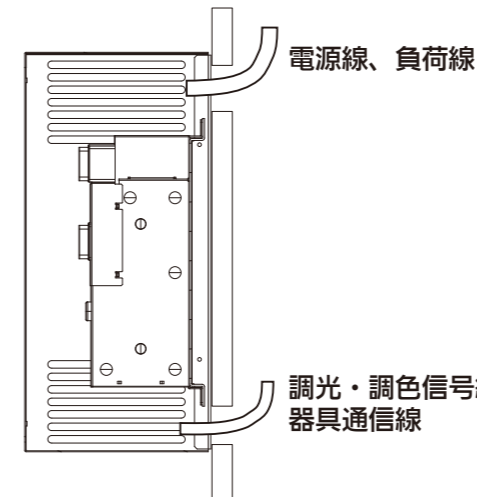
- ・M8ボルト（別途）を4本使用して、壁面に調光ボックスをネジ止めしてください。
- ・上下方向があります。内部のシールの矢印が上を向くように取付けてください。

3. 信号変換インターフェースを取付ける。



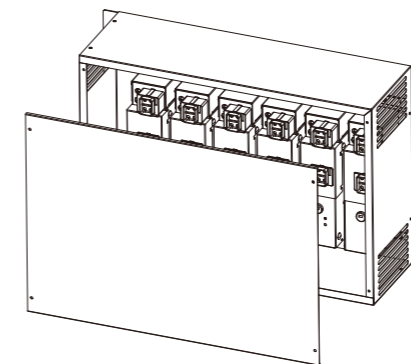
- ・図のように信号変換インターフェースの電源端子が上部になるように取付けてください。
- ・同梱のM4ネジで信号変換インターフェースをネジ止めしてください。（信号変換インターフェース1台に2本使用）
- ・トルクは0.6～0.7N・mでネジ止めしてください。

4. 壁から電線を通し、信号変換インターフェースに接続する。



- ・配線は信号変換インターフェースの種類により異なります。詳細は信号変換インターフェースの取扱説明書を確認してください。
- ・電源線、負荷線は上部より入線してください。
- ・調光・調色信号線、器具通信線は下部より入線してください。
- ・壁に開口部を設けて入線してください。壁に開口部を設けられない場合は、調光ボックスの上下に加工穴を設けて、上または下から入線してください。

5. 調光ボックスのカバーを取付ける。



- ・カバーをネジ（4箇所）で締め付け、カバーを取付けてください。